

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

日 時	令和5年2月24日（金）18:30～
会 場	北広島市役所3階 会議室3C
出席委員	橋会長、高嶋委員、原口委員、山口委員、米一委員
傍聴者	なし
事務局 市出席者	【北広島市】上野市長 【市民環境部】高橋部長、阿部次長 【市民参加・住宅施策課】山田課長、中島主事、遠藤主事

1. 開会

2. 委嘱書交付

《市長から各委員に委嘱書交付》

3. 市長あいさつ

4. 委員、事務局の紹介

5. 会長、副会長の選出

6. 会長、副会長あいさつ

7. 報告事項

(1) 令和4年度公益活動事業補助金 中間報告

《事務局から資料1に沿って進捗説明》

～質疑応答～

【ほっと】

○A 委員

8月8日に購入してからの実績ということだが、8月以前の購入前との比較があると、どのくらい増えて、導入した価値があったが検証できると思う。

○B 委員

備品購入前と比べて、オンラインの人がどれだけ増えているかが見えないと事業効果が見えてこないなので、実績を作るときには分けて人数を出してもらいたい。

●事務局

もともとオンラインでの実施はしていたと記憶しているが、活動内容に制限がかかるので、今回新たに導入したというのがある。備品を入れたことによる効果を分かりやすくということで、ご指摘の点は次回の実績に繋がるようにしたい。

○議長

実績報告はいつ頃か。

●事務局

皆様にお示しするのは6月頃。

○議長

最終的な報告をあげる際に、ご指摘のあった8月の導入前とどうかわったかと、可能であ

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

れば現地開催とWeb開催の人数の内訳を知りたい。また、コロナが収まってきてどうなったかもわかればと思う。

○C委員

百歳体操のCDは高齢者支援課で作って配布しているので、実施にWi-Fiは不要だと思うが、映像をどこか別会場で映しているということか。

○A委員

左にプロジェクターの写真もあるので、百歳体操ではプロジェクターを使ったように見える。プロジェクターを借りてくるのが大変なので購入したいと前回言っていた。

○B委員

この補助金の支出時期は実績報告が終わった後になるのか。

●事務局

適切に実績報告をしていれば実績報告後に支出している。6月に、新年度の補助金申請と今回の補助金の結果を確認する場があり、委員の皆様にお示しする時にはもう支払っている形になる。

○B委員

全額精算払ということで、支払いは4月くらいか。

●事務局

年度末の事業終了後、4月20日までに報告をもらい、その後1週間以内に支払う。

○議長

購入してよかったと思えるような意見が現状あまり見えてこないなので、そのあたりをアピールしてもいいのかなと思う。

【きたひろ観光協会】

○D委員

今後の予定のスケジュールがあるが、2月6日より前の活動はないのか。

●事務局

口頭で動いているということは確認している。

○議長

集まっているメンバーを見る限り、何か月もかかるようなものではないと思う。

○A委員

あと一か月で商品開発して出すのが、果たして良いのかという疑問がある。去年一年間の時間はあったはず。

○C委員

試作と試食を繰り返してというイメージだったが、2月から3月に納めたという印象がある。

○A委員

残念でならない。

○議長

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

一年間で出来るのかというのは皆さんが昨年審査したときに危惧していたこと。スケジュール管理をきっちりしてという条件をつけて交付を認めた結果、スケジュールはまったく無視されたという状況で、皆さん言いたいことが色々とあると思う。

○A 委員

最終的には着地するだろうなと思うが、それを一か月程度でというのが気になる。

○C 委員

せっかくスケジュールを考えたのに、その前は何をやっていたのだろうか。

●事務局

こちらのヒアリングでも、何月頃こんなことをやっていたという話はなかった。

○A 委員

試食会をすでに実施しているものだと思っていた。

○B 委員

確かボールパークの中にテナントを出すと聞いているが、そこでも販売するのか。

●事務局

そういうイメージを持っている。

○議長

今から間に合うのか。あの中のもの販で食べ物を売というのがおそらくハードルが高い。

○A 委員

球場の中じゃなくて、外の建物か。

○議長

外の建物。商業棟でも結構縛りが色々とあると聞いている。

●事務局

今回開発する商品は、市内の飲食店でテイクアウトしてもらおうという動きとしてやっていきたいとのこと。皆様が懸念している他の地域での提供など、そういった広がりを見せていくべきという話はさせていただいた。

○議長

市民参加の形で何とかやっていってもらいたいという話があったが、結局、その部分は抜け落ちている。

○A 委員

市民と一緒に作って行って欲しかった。このスケジュールだと3月中旬に試食会等のPRの実施なので、出来たものを試食して終わりになる。一緒に作り上げていくという構想から外れてしまっている。

○C 委員

北広島の食の開発というすごく大きなテーマを半月ほどの構想で決めてしまうのは、これからずっと広げていく食という資源をすごく粗末に扱っているような印象を受ける。

○D 委員

結局、試食して商品を作ったということで補助金としては問題ないのか。

●事務局

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

最終的にかかる経費等大きなミスや不適切なものがなければ、経費は補助金として妥当なものと判断する形になる。

○D 委員

自分も市から補助金をもらった経験があるが、本当に大変で担当の方にも苦勞をかけたことがある。ましてや、ボールパークの関係で市の財政も大変だということもあり、その中で補助金を無駄にするようなことをしてほしくないという思いが強い。あと一か月で、物として作ってしまえばいいということには決してしてほしくない。

○C 委員

もっと長い目で見て、北広島の食を考えてくれるというテーマだと思っていた。

○議長

去年のエコバッグの例だと、やはり一年間の様子を見てというのが適切だったのかとも思う。あちらはしっかりとスケジュールを組んで実施していた。

また、もうひとつ聞きたいことがあり、この事業に関する予算執行はどのようになっているのか。補助金は最大で使った費用の3分の2を交付となるので、当初の予算案とは実績が異なると、実際には当初の額より落ちるのではないか。

●事務局

その場合は変更申請に該当すると思われる。分かった時点で速やかに変更手続きが必要となる。今その状況が推測されつつあるので、事務局側から声をかけたいと考えている。フードコーディネーターへの報償費がなくなると金額は大きく変わるはず。その部分がポイントになっていたので、当初の申請内容から経費の実態が変わっているのは間違いないと思われる。

○B 委員

賛同者の拡大というのはどういう意味か。

●事務局

現状、関係者が特定のエリアの業者のみだが、地域の広がりというのが事業のポイントになるため、他の事業者や市民も賛同者として関わっていただきたいということと聞いている。

○議長

今の段階でメニューが決まっていないと厳しい。

●事務局

メニューは市内業者の加工食品の練り物を利用すると聞いている。それを各店舗が形を変えてアレンジを加えるとのこと。ただ、それを必ずこういう形にするとか、この具材を使うとかはまだ決まっていない。使うものはその練り物の冷凍食品ということが決まっている。

○議長

その練り物自体は北広島と関係あるのか。

●事務局

原材料に市内のものは入っていないと記憶している。

○C 委員

最終的に商品化するものは1つなのか。

●事務局

商品化に際しては、そのお店ごとにアレンジを加える形になるとのこと。

○議長

誰が提供するのかということ。北広島は提供する飲食店が少ない。

●事務局

当時の皆様のイメージだと、もしかしたらパッケージに入って袋に包装されたお土産のようなイメージをお持ちだったのかと思う。

○A委員

真空パックやフリーズドライのような形式でテナントに置くなどが考えられる。

●事務局

基本的には、持って歩いてもらえるような商品ということで、常温でも使えたりと、使やすい素材ではあるが、練り物で北広島というのがピンとこないのが正直なところではある。

○議長

練り物メインでもアレンジした結果、北広島の色が出るならば良いが、現状、北広島らしさが分からない。

●事務局

ここに書かれているようなフードコーディネーターとは別の広告担当がブランドをどうしていくかを含めて考えていくと聞いている。

○B委員

商品になるからにはストーリーが必要。市民がそれを北広島の新しいグルメだとPRするような形でなければ、単なる業者メインのものになってしまう。それは補助の趣旨とは違うかなと思う。

○A委員

市民が参加して一緒に作り上げていくというストーリーがほしかった。

○B委員

そういうストーリーと北広島らしさ、例えば、北広島の食材や農産物を使わないといけなかったのではという思いはある。

○C委員

コンビニエンスストアがパン等を球場のイメージで作っていて、形はこうしたらいい等の意見が出ている様子をテレビで見た。今回の商品開発も広報等を用いてそういった市民参加をしていくイメージだった。試食を実施して意見をもらうなど、それがみなさんの言うストーリーというものだと思う。その上で3月30日を迎えましたなら良いが、市民が誰も知らないまま半月ぐらいで新たなご当地グルメが練り物でしたっていうのがどうなのかという心配がある。

●事務局

このまま進むと商品が3月30日に出来るが、もっと早めに市民に周知し、見てもらう機会を作るべきだった。実績報告の際に皆様にいただいた意見を伝え、我々の方も審議結果をHP等で公開して、無駄にならない様に持っていかなければいけないと感じている。

○C 委員

観光協会の思いは事業者には伝わっているのか。切羽詰まって事務的にやらなければという形になっているのであれば残念。

●事務局

部会で商品開発が必要だという議論があった中で、補助金の有無にかかわらず、進めていかなければならないという使命をもって動いていたと聞いている。ボールパークの開業というのが大きく、もともと既存の観光資源としてあった商品とは別に必要だということで今回実施に至ったと聞いている。

○B 委員

市の観光サイドとの繋がりはないのか。

●事務局

観光協会を法人化してからは情報共有をしていると思う。

○議長

個人的な情報として、観光協会には何故練り物が中心に据えられるようになったのか、決定の経緯を報告時にしてほしい。また、12月まで何をしていたのか、去年提案してきたときのタイムスケジュールと予算執行の話も説明報告に入れておくようお願いしたい。

○D 委員

交付条件が3つあり、守ることとして「試作品検討段階から市民参加を求める」とあるので、この程度はしっかりやっていたかなければ。

●事務局

それは重々申し伝える。あと一ヶ月しかないが、市民参加を求める様にとということも伝える。

○議長

そのあたりを明らかにするためにも、商品決定の経緯の説明が必要。12月までに実施すると言っていたことを全くしていなかったことによるスケジュールの検証のために報告をしっかりとるようにお願いしてもらいたい。どこまで当初の案どおりに進んできたのかなど。

●事務局

観光協会がもともとベースを持っていたのかどうか、当初の申請段階で何か考えていたのかという皆様のご意見があり、今の練り物になった経緯や、そこからの展望など今後の展開も含めて説明できるように伝える。

(2) 自治連合会との意見交換の結果報告

《事務局から資料2に沿って報告》

～質疑応答～

○C 委員

ここに載っている8団体が一堂に集まったのか。

●事務局

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

我々が役員会のタイミングで各自治会に個別にヒアリングを行うという形をとった。

○A 委員

会に所属されている方はご高齢の方が多いのか。

●事務局

ご高齢の方がほとんど。土日平日含めて動ける方となるとおのずとその傾向になってくる。

○B 委員

こうした意見交換は今回初めてなのか。

●事務局

自治連合会や町内会の方とのお話は何らかの形で実施しているが、自治会の運営自体にスポットを当てたというものはあまり実施していないと記憶している。団塊世代の方が70代となり、また、コロナ禍ということで、この10年間で実態が大幅に変わろうとしている。各団体はその部分が悩みとなっており、今やるべきことだと感じたので今回実施した。

○議長

一堂に会してもう一回実施する等の展開はあるのか。

●事務局

意見交換とは別にセミナーを実施しており、セミナーにも繋げていく一つの手立てとして考えていたが、そういった展開も考えられる。セミナーのアンケートでも、もっと他の団体と会う機会がほしいという意見もあった。

○議長

まとめのところで「他の団体の運営状況を知りたい」という意見があるので、代表の方が集まって定期的に意見交換を実施してもよいと思う。定期的にやっているというのが分かれば、実施後にこれを聞いておけばよかったというのがあっても次の機会に聞ける。それから、地域だけではなく、様々な年齢層に分けて話を聞きに行くというのもありだと思ふ。どんな仕事をしているのか等、年齢層によっても実態が変わってくると思うので。

○D 委員

団塊世代のみなさんが頑張っているが、団体の存在についてみなさん危機感を持っている。みんな共働きしており、町内会活動のこれからというのをどのように考えているのか聞いてみたい。

●事務局

市として実態を把握したいということと、どういう支援ができるか、補助金以外にもソフト的な支援としてできることはないかを知りたかった。ゴミの話や道路の管理、除雪にしてもそれぞれ所管する部署が異なるので、そこでの橋渡しもやっていきたいと思っている。実際として、問題に直面しており5年立たないうちに厳しくなる団体はますます増えてくると感じた。

○D 委員

今支援する側の方が、支援される側の人にどんどんなっていく。

●事務局

先日のセミナーもそうだったが、いかに若い方と情報共有するかが重要になってくる。ま

た、新たな事業等を検討しても、それを市内全域で同じことができない可能性があるという問題もある。町内会の意見交換の中で、できる所をピックアップしてモデル的に実施してみるなどの動きが必要かなと感じる。特に北広島団地が急速に高齢化してるのと、一部の地域では流動化も止まっているのでそういった懸念がある。

○議長

自主団体なので、最終的には自分たちでやっていくことだと思いますが、ただ、何をどうしたらいいかわからないという全くの手探り状態では難しいので、情報だけは他の団体と繋ぎ合わせてあげることが必要。市から情報を出し、こういった会合を開いて質問を受け付けて市でできるだけお答えしていくというような機会が増えれば、今後の展開も変わって行くのかと思う。聞いた中で自分たちにできそうなものを取捨選択して進めていくという流れになっていくのでは。

○A 委員

「町内会」という組織だが、実態は現状2,3人で運営しているような状況。町内会はどこも人手不足。

○議長

そのあたりをどのように、いかに集めていくかということを考えていかなければならない。それは自分たちで考えなければならぬこと。活動していないところは人がいなくなる。面白い面白くないかは別として、活動していればなんとなく人は残ってくれるし、活動していなくてお金だけ取られていくというのが一番マイナス。

(3) 市民参加・協働セミナー開催の結果報告

《事務局から資料3に沿って報告》

～質疑応答～

○B 委員

このセミナーに参加したが、町内会・自治会関係者の方が圧倒的で、NPOの方は少なかったように見えた。ワークショップも、町内会・自治会の課題やその解決策について話し合うようなものだった。大変良い試みであり、地域によって課題が違うそれぞれの自治会が一堂に会して意見交換できる機会があるのは良いことで、みなさん満足して帰られたという印象。市民協働という意味では、NPOや市民活動団体、特にNPO法人は市内に30団体ほどあるので、NPO関係者のみでこうした取組を実施してみるのも、NPO活動の活性化につながるかと思った。

○D 委員

何回もやっていただけると働いている人も参加できると思う。

○議長

今まであまりなかった活動のため、初めて聞いたらピンとこない部分も結構あると感じる。中身としては、さきほどの報告にあった連合会の意見交換会の延長線のように感じる。

●事務局

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

さきほど NPO の話もあったが、NPO は現状厳しい状況で、NPO 独自の問題を抱えている。ただ、自治会は目に見えて弱体化しているので、今回は自治会メインという形で NPO にも声をかけた。今後についてはこれからまた検討していきたい。

○C 委員

実際に会場に来ていた 22 人は、自治会との意見交換会で意見を出していた人たちなのか。

●事務局

今回の参加者の多くは最小単位の自治会関係者の方。一人だけ連合町内会の方がいた。ただ、兼ねている方がほとんどなのでなんとも言えない。今回の話題は、活動内容がまちづくりに近いような NPO なら合致するが、例えば福祉法人のような NPO にとってはピンとこなかった部分もあるかもしれない。

○議長

一番のテーマは、住んでみたい、住み続けたいまちにするにはどうしたらいいかというところがメインだと思うので、NPO もそういった方向に限られてくるのかなと感じる。そういった観点からこういったセミナーを繰り返し実施していき、それに向けて委員のみなさんから、こういうのを入れたらどうか、こういう場面でこれからの北広島を考えていくのがよいのでは、といったご意見・ご要望等を出していくのもよいと思う。

○A 委員

子育てしやすい環境、子育てしやすいまちというのが、地域活性には不可欠ではないかと思う。自分も 4 歳と 2 歳の子どもがいるが、やはり子ども中心に物事が回っていくようになったので、そういうことを絡めていくとまちが活気づいていくのではないかと思う。そういった方面に予算をもう少し増やすべきなのではないか。あるまちで、若い世代への子育て支援が充実していて、人口が増えているとニュースでも取り上げられているが、そういった事例が出ている中で、北広島市として、あのまちでやっているなどと思っているだけなのか、本市にも必要だなと感じるのか、ボールパークができたから必然とそういった意識も必要に思う。赤ちゃん応援クーポンなどアイデアは色々ある。

○議長

市民参加のセミナーをやっていただけなのであれば、なるべく A 委員くらいの世代の人にたくさん来てもらって、一方的にセミナーをやるのではなくて、今回のように、ワークショップのような形で、親として今の市民に何が足りないのかということ伝えてもらう機会があってもよいのではないか。ただお金配りですだけではなくて、他にどんな要望があるのか、何があると助かるのかを直接聞くというのは、この委員会やこの部署に求められてくることになるかなと感じる。それができればすごく良いものになると思う。

●事務局

計画を作る素案の段階でワークショップを実施したり、幅広い年齢の方のご意見をいただくなどのことをまちづくり担当がやっているが、それとは別に、現状の中でそういった機会が必要ということで今のご意見を聞いていた。特に若い方に向けたものとしては、このコロナ禍で子育て世帯のためにイベントを実施している団体は強いという印象。そういう団体は子育て世帯の方と上手くコミュニケーションが取ることができるので、コロナ禍でも繋がり

令和4年度第2回北広島市市民協働推進会議 会議録

を保ち、そのまま活動を継続している。講師が言っていたのは、これからは子育て等、若い世代の方と情報共有して、ITのツールを使いつつ、高齢者ともうまく接点を作るとというのがポイントとのこと。

○議長

先程の北広島の食の話もありますが、今子ども達にうけるのはどんな食べ物なのだろうか、それを北広島で考えていきたいと思いますというのも面白い。例えば、市内のお米をどうやったら子ども達が喜んで食べてもらえるだろうかという工夫が出てくるだろうし、そういうことをやっていけば面白いのではないか。それに限らず、またこういうことを実施していただけるのであれば、ターゲットをうまく絞ってやってもらえるとうまいかと。子育て世代にとっては何時開催が良いのかなど難しいところはあるが。

●事務局

託児を設けたセミナーも別事業で開催しており、そういったものを市民参加していただくにあたっては必要と感じる。

○A委員

時間がなく、子育てしながらこういったセミナーに参加する余裕がないのが実態。

●事務局

LINE等のツールで情報共有するだけでも変わってくるのかと思う。同じ子育て世代の悩みをその中で相談するなど。

○議長

市役所内の会議室等を借りたり、あるいは、今回のような会場で、子供は目の前で遊ばせて、同じ空間で会議を開くといった方法があってもよいかと思う。

●事務局

子育て世代の若い方の中にも、これからどうしたいかということについて、子どものためにという観点で積極的に動かれている方もいるので、時間も割いてもらえるような機会を作っていくというのが行政に求められていると感じる。

○A委員

別の話題として、市内の小学校で提供されている給食は、一食あたり200円程度と聞いた。

●事務局

確かなデータは今持っていないが、およそ200～300円。

○A委員

金額として少なく感じる。別の団体と話し合う場があったが、給食には地域のものを使いたいという思いがあるとのこと。そこで何を用意しようとなると、200～300円で地域の良いものを用意することは難しい。子どもが食べる大事なごはんが200円程というのが驚いた。あんなにいっぱいあるのに200円程で済むんだと。疑問というか、北広島市はそれでいいのかと感じた。

○議長

一時期、Facebookで自治体の給食が全部掲載されているというのが話題になった。道内の自治体が自ら「こんな美味しいものを提供しています」という発信をしていた。

○A 委員

地元の米を使った日などに実施しているように見える。

●事務局

本市も実施していると聞く。今あったようにコストの問題があるので、それを勘案しているとのこと。

○A 委員

何故そんなに安いのかという疑問がある。

○B 委員

全道的な傾向として、給食に地元の食材を使えるようになってきている。自分のまちの牛肉を使いたい、有機野菜を使いたいといったところを、農政担当課で予算立てして、月1,2回、給食センターに協力するような形。また、農協が無償で提供するなどの方法でプラスアルファして、地元の特化した給食を提供している。給食費自体は、200円程度の中でやらざるを得ないので、こういったことを給食費の中で行うのは仕組みとして難しい。

○D 委員

いろんなところから協力を得ている。

○議長

自分より上の世代は給食を美味しいものだと思っていない。今は良くなっていると思う。

○B 委員

セミナーの話で、NPOを中心としたものをやった方がいいと思うが、NPOだと福祉関係やまちづくりなど、ジャンルが広いという課題もある。市民協働自体は担当されている市民参加・住宅施策課が窓口だが、市民協働というものは全庁的な分野にまたがっているので、関係課の職員の方もセミナーに参加されて、様々なNPOの課題や自治体の話を聞いてもらうと、お互い協働の機会が増えていくのではないかなと思うので、可能であればそういうことも検討していただければと思う。静岡県焼津市では、「市民参加と協働の指針」というものがあり、市民に信頼される職員になろうということで、職員に対して市民にこうしたらいいという指針を作っている。市民・団体も協働を意識しなければならないが、市役所の職員もそういう意識を持って市民団体の方との協力できる関係を作ったらいいのではないかなと思う。

○議長

市としてはこういったセミナーは年間どれくらいできるのか。

●事務局

予算的には1回。2回くらいできないかとは考えている。

○C 委員

自分もセミナーの情報を知っていたが仕事で行けなかった。こういうものに若い人が出てきてほしいと思っており、意見が欲しいときは、若い人がいっぱいいるということが大事だと思う。資料にもあるように、「何で知りましたか」という回答では、広報や新聞が多い。一方で、若い人は新聞やテレビを見ないが情報はすごく持っており、SNSで情報収集する時代になっているので、どうやったらその流れを活用できるかというのが大事だと感じている。最近、北広島もLINEが始まり、様々な情報が入ってきて、知り得なかったことを普通の生

活の中で家事などをしながら見るることができる。そういう身近さが情報を得るために大事だと思う。何かで改めて教えてもらうとかではなくて、今の20代、30代の人たちが手に持つスマホの中に、セミナーなどの「若い人は是非来てください、子連れでも参加可能です」という情報が入ってくると、行くきっかけになるかもしれないと感じた。

OD 委員

LINEの登録者はどのくらいいるのか。

●事務局

1月末の時点の登録者数が大体3,000名。その半数が受信設定をしていない。受信設定とは、自分の興味のあるジャンルを設定していると、そのジャンルに該当するHPが更新されたときに通知が行く仕組みだが、設定しないと、発信されるメッセージは、市全体の緊急のお知らせ等に限られる。チャットボット機能というものがあるので、ゴミの出し方を調べるといった利用方法はできるが、市の発信した情報を受け取るっていう意味ではまだ1,500人程度。

OA 委員

今の若い人たちは、情報は調べるといふより、垂れ流しに入ってくる情報を選ぶという印象。自分も調べるときは、垂れ流しで来る情報を見て興味あるというものは深く知ろうとする。市の広報を取っているが書いてあるものは有益な情報が多い。フッ素を塗る日のお知らせや予防接種の日程など、自分で調べようと思わない情報がたくさん載っているのも役に立っている。

●事務局

当課の別事業で、住み替え支援のセミナーがあり、キャンセル待ちが発生するくらいの勢いで回覧を見た人が問い合わせしてきた。その世代ごとに合った情報の出し方をしないと欲しい人に届かない。別の市民参加の会議では、この部分を議論していて、どうやって市の施策を知ってもらうのかを考えていただいている。最近では市内の商業施設に掲示したり、郵便局にお願いしたりということをやしつつ、SNSでも周知を実施しているところ。

OC 委員

根本的に、市のLINEを友達登録しないと、せっかく発信したのを見ないことになるので、まずは登録者を増やしていくことが大切。

OA 委員

市のHPは少し固い。どこに行ったらいいかわからないときもある。

○議長

市や道のHPに載っているのは客観的な情報なので、例えば、講演で話をする時に、ここに市の情報が載っていると紹介したいが、いきつくまでが長すぎるので紹介できない。そういう時は、市のHPを探してくださいと説明するがもったいないと思っている。

OC 委員

URLだと見ないと思うので、興味を惹く短い言葉があればいい。

○議長

市や道、NPO団体等のセミナーはキャッチーな言葉が出てこない。それだと右から左に抜

けちゃうことがほとんど。弁護士会で出すようなイベントもみんなそうなので、一目で何のイベントかわからない。ポスターなんかも、もっと情報を集約して一目見た時に立ち止まりたくなるようであればいけない。

○事務局

プレスリリース時に、「自治会向けの」と表記を入れたら問い合わせがあった。短い言葉でも興味を惹くメッセージは重要だと感じた。

○OC委員

今回のセミナーのポスターも工夫が必要。自分が発言できないような、何を聞かれるかわからない難しいものという印象を受ける。内容を読むと柔らかいものだが、一目見た人はちよっと敷居が高くて行けないという印象を受ける。

○OB委員

残念ながら、市民参加や市民協働という言葉は行政から出た言葉のイメージが強いので、一般の市民から見るとなじみがない。

○議長

来ていただいた方に、ポスターやチラシはいかがでしたかと聞いてみるのも有効。私が来ていいのかわからない、と言われたら工夫しなければいけない。弁護士会でイベントをやるときには、担当講師の方にタイトルを決めていただく。そのセミナーのテーマが分かりやすくなるので、こういったこともひとつの方法だと思う。

8. その他

9. 閉会